

栃木県人会紹介

英国栃木県人会

現地名 Tochigi Association in the UK
設立年月日 1992年6月28日
所在地 英国ロンドン市
会長 佐野圭介
会員数 約40人 (2015年1月末現在)

遡る事402年前、キング ジェームズ1世が東インド会社を通じ、長崎は平戸、尾張を経て江戸城で徳川幕府に貿易の許可を訪ね、日英交流が始まりました。

近代の日英交流の歴史は1860年初頭からで、1863年には長州ファイブ(伊藤博文、井上馨、山尾庸三、井上勝、遠藤謹助)が幕府の禁を破って渡英し、ユニバーシティカレッジロンドンに入学し、その後も多くの多士済々たる多くの人材が両

国間を行き来してきた関係にあります。1902年の日英軍事同盟は日本をして列強の一員になり、約20年間の国家増強をもたらした事は周知のことです。

さて我々の英国栃木県人会はこの日英同盟の90年後、1992年にロンドン市で産声を上げました。当時の足利銀行が、1980年当初にロンドンに駐在員事務所を開設されました。この事務所は段階的に拡大し、支店を開設する頃には、在英する栃木県の同胞が足銀の行員さんを中心に集まる事が多くなったわけです。そこで、1992年6月28日に当時の足利銀行の磯部ロンドン支店長の肝いりで、不肖、佐野が初代の栃木県人會会長に選ばれ、英国栃木県人會が発足しました。当初は40名弱の会員数で始まり、日本のバブル景気が弾けるまでは会員数も多くなりましたが、その後景気の低迷やリーマンショックなどを経て、現在は在住の日本人の数も横どまりになっています。これらの動きに対し1994年2月4日付けで、当時の栃木県知事 渡辺文雄様から県人會の總會宛にご激励のお手紙を賜って居ります。遠く英国に在住するものにとって大変ありがたいお言葉も賜り、鼓舞された事が昨日のように思い返されます。



▲ジャパン祭2012で益子焼を販売

2012年には益子町長の大塚朋之様が訪英され、英国南西の美しい街、セントアイブス町と益子町との間で友好都市の提携がなされました(2012年9月20日付)。そこで、当県人會でも2012年に開催されたジャパン祭で益子焼を大々的に販売しました。

また、忘れてはならないのは、佐野市に支部のある日本クリケット協会の存在です。クリケットは英国発祥のジェントルマン競技で、英連邦では今も大変熱烈な競技が行われています。岡部市長様を始め多くの佐野市の方々が熱烈に日英交流も含め発展に努力されております。例年、佐野市からクリケット団がお出でいただく際には、当県人會も一緒になってご支援をさせていただいております。



▲ジャパン祭2013。英国栃木県人會佐野会長(右端)は、英国日本人會の會長も務める

最後にやはりジャパン祭です。今年、2015年9月19日に開催予定のジャパン祭は、開始から7年目になります。この祭は、ロンドン市内のトラファルガー広場で終日朝早くから夜遅くまで開催される、英国日本人社会最大のイベントであります。ここ数年は、栃木県の屋台を繰り出し、昨年は「佐野ラーメン」をゆるキャラ「さのまる」君に応援に来ていただいて販売し、足利市からは「ポテト焼きそば」を我々が実演販売して大いに祭で栃木県を売り込んだ次第です。

平常月は折に触れて夕食会を催したり、都道府県人會ゴルフ大会に向かってゴルフにも勤しんだりして栃木県に想いを寄せています。

どうぞ栃木県人の皆様が英国において下さるときは、お声をかけ下さい。

Welcome to London !!

ロンドンでも大人気!のさのまる▶



▶さのまると佐野ラーメンをPR

